



えのさわ吉克県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

袖ヶ浦椎の森工業団地

今年度詳細調査の対象に決まる!

●袖ヶ浦市特集● 6月県議会一般質問

4月の県議選で新人候補を大差で退けて再選を果たした袖ヶ浦市選出の江野沢吉克(えのさわ・よしかつ)県議は、改選後初めての6月定例県議会で、早くも一般質問に登壇し、2期目の議会活動を開始しました。この中で、休止されたままで懸案となつている袖ヶ浦椎の森工業団地の今後の整備見通しについての江野沢県議の質問に対し、県当局は、今年度実施する詳細調査の対象地とすることが決定したことを正式に明らかにしました。そのほか、土地改良事業の着実な進展を求めた要望など、江野沢県議の主な質疑を特集しました。



再選後初の定例会で一般質問に登壇した江野沢吉克県議

土地改良 事業費削減を懸念

江野沢議員 一昨年の政権交代により、土地改良事業費が削減され、また、今年度は震災の復興対策のための予算も必要になる中で、農家からは再整備への不安の声も聞かれます。財政状況が厳しい中で、新規地区の事業化を含め、今後、県はどのように土地改良事業を進めていくのか。

森田知事 東日本大震災により、農地及び農業用施設にも甚大な被害が生じ、早期復旧に向けて取り組んでいるところですが、農業の生産力強化と担い手づくりの推進のためには、土地改良事業による生産基盤の整備を着実に進めていくことが、今後も重要だと認識しています。

このため、県では生産性の高い農地の整備や老朽化した農業水利施設の計画的な長寿命化対策、災害の未然防止のための施設整備などの重点事業に対し、必要性、緊急性や事業効果などの評価を行い、集中的に予算を配分し、事業を実施してまいります。

新規の要望地区についても、同様に評価を行い、地元農家及び関係機関と連携の上、コスト削減を図りつつ生産性の向上に資するよう、事業計画を作成し、国の予算動向を踏まえながら、事業化を進めてまいります。

江野沢議員 袖ヶ浦椎の森工業団地は、第1期の分譲を終えた後、経済情勢の変化によって第2期・3期の用地は休止したまま現在に至っております。しかし、先の大震災により臨海部の液状化や津波を危惧する声が高まり、内陸部の工業用地が見直されていると聞いています。まさに袖ヶ浦工業団地は、首都圏に近接し、かつ地盤の強固な内陸団地ということで、企業ニーズに配慮されていると考えています。袖ヶ浦椎の森工業団地2期・3期について、今後の団地整備の見通し

はどうか。

商工労働部長 さる5月11日に開催された第3回工業団地整備検討委員会の評価の結果を踏まえ、袖ヶ浦椎の森工業団地2期・3期ほか1カ所を今年度実施する詳細調査の対象地とすることを決定したところで、袖ヶ浦椎の森工業団地2期・3期は、都心や高速道路インターチェンジへのアクセスが良く、工業用水の利用も可能であり、労働力を確保しやすい環境にあることから、対象地の中で高い評価をえたところで、今後は、事業採算性を

中心とする詳細調査を進め、改めて工業団地整備検討委員会にお諮りし、年度内に結論を出したいと考えています。

要望 私は、この袖ヶ浦椎の森工業団地ができていなければ、千葉県の工業団地政策は進まないものとの認識を新たにしたいと考えています。どうか皆さんのお力添えをいただき、利便性の高い、また自由度の高い、安全な工業団地政策が千葉県の資本であると考えておりますので、さらなるご支援をたまわるとお願いいたします。

委員会でも高い評価

安心安全の郷土づくり

●県政や上総、袖ヶ浦市のご相談、ご要望はお気軽にどうぞ...

えのさわ吉克 県議事務所
 〒299-0236 袖ヶ浦市横田413-9
 TEL.0438-75-8881
 FAX.0438-75-8882

県政改革に全力投球！えのさわ吉克県議

袖ヶ浦市特集 6月県議会一般質問

東京湾岸道路の未整備区間

早期具体化を重ねて要請

「知事の顔で国へ要望を！」

江野沢議員 東京湾岸道路の未整備区間、特に木更津市金田から袖ヶ浦市今井までの間の早期具体化に向けて、強く働きかけるべきと思うがどうか。

森田知事 千葉県内の東京湾岸道路は、東京都境から富津市に至る約95キロが計画されており、すでに東



袖ヶ浦海側土地画整理組合の設立総会に出席した江野沢県議

この未整備区間のうち、東京湾アクアラインの着岸地周辺地域では、アクアライン料金引き下げにより交

通量が増加しており、また、今後予定されている大型商業施設の立地や圏央道の開通などにより、人・物の動きがさらに活発化することが予想されています。

このことから、さる6月2日及び3日に、沿線自治体や民間団体が構成する「東京湾環状道路並びに関連道路建設促進期成同盟」により、未整備区間の具体化に向けて国へ要望したところ。

意見書採択

江野沢県議が中心となつて、県議会は6月定例会の最終日に「東京湾環状道路の早期整備を求める意見書」を採択し、県議会議長名で総理大臣や国土交通大臣らにあて同意見書を提出しました。

江野沢吉克県議 6月議会での質問項目

- 1. 農業問題について
2. 袖ヶ浦椎の森工業団地について
3. 道路問題について
4. 交通安全対策について
5. 石油コンビナートにおける火災爆発事故について

石油コンビナートの爆発事故

高圧ガス設備の安全対策

江野沢議員 石油コンビナートにおける爆発炎上事故について、石油コンビナートの高圧ガス設備の安全対策はどうなっているのか。

商工労働部長 事故原因については、事故調査委員会を設置して調査しているところですが、タンクが倒壊した原因は、液化石油ガ

スより比重の大きな水を満たしたため、通常時よりも大きな荷重が当該タンクに加わったことが一因と指摘されています。

このことから県は、同様の事故発生を防止するため、設備の耐震性及び使用方法について、県内の高圧ガス事業者や保安団体に対し、注意喚起を行い、指導しているところ。

今後、事故調査の結果を踏まえ、事故再発防止対策の周知徹底を図り、高圧ガス設備の安全対策にさらなる万全を期してまいります。



水上警察隊と一緒に海上から石油コンビナートを視察する江野沢県議

歩車分離式信号の設置を要望

増やすべきではないか。

江野沢議員 県内の交通事故死者数は、昨年、11年連続で減少したところですが、いまだ200人近い方が亡くなれば、その半数近くの方が歩行中の事故によるものです。中でも、その約3割が、交差点の横断歩道やその付近を横断中の事故である

と聞いています。歩車分離式信号機は、その必要性から整備を進めていただいているところですが、さらに

今後、整備要望や地域の特性、交通量等を踏まえながら、自治体などの関係機関等と連携を強化し、歩車分離式信号の一層の整備に努めてまいります。

えのさわ吉克プロフィール

経歴: 昭和24年 袖ヶ浦市上宮田に生まれる、43年 木更津中央高校卒業、61年 地区青年会会長、山梨国体射撃競技に出場、62年 沖縄国体射撃競技に出場、63年 袖ヶ浦町議会議員選挙に当選、平成4年 都市建設経済常任委員長、6年 木更津中央高校父母会会長、平成8年 議会運営委員長、16年 建設経済常任委員長、17年 第11代袖ヶ浦市議会議長、19年 千葉県議会議員選挙初当選、20年 県土整備常任委員会副委員長、21年 環境生活警察常任委員会委員長、23年 千葉県議会議員選挙再選